



東小だより

学校だより12月号

H30.12.1

昭島市立東小学校

校長 瀧島 啓司

自分の気持ち、伝えられていますか？

校長 瀧島 啓司

子供たちの作品が並ぶ体育館



11月30日(金)・12月1日(土)の展覧会には、多くの方々

に足をお運びいただき、鑑賞くださり、誠にありがとうございました。

子どもたちの力作に、満足いただけましたでしょうか？

さて、11月は、「ふれあい月間」でした。子どもたちにアンケート調査を行い、学校生活で困っていることがないかを尋ね、状況により担任やスクールカウンセラーから事情を

聴き取り、対応しているところです。

ところで、皆さんなら『明るくて面白い人』のことをどのような言葉で表現しますか？

たぶん「お調子者」や「ひょうきん者」などと言う方が多いのではないのでしょうか。「お調子者」は、軽はずみで、その場のしのぎの無責任な人というイメージで、もう一方の「ひょうきん者」は、軽妙で、ユーモアがある人気者といった感じがしませんか？

このように、同じ相手であっても、その人との関係性、あるいは使う言葉によっては、良い意味にも悪い意味にも変わってしまうことがあると思います。また、言った方は、悪気が無く、愛情をもって「お調子者」と言ったつもりなのに、言われた相手にはその気持ちが伝わっていなかったり、好意的に受け止める余裕がなかったりすれば、二人は陰悪な関係になってしまうこともあるかも知れません。さらに、言った方は良いイメージをもって「ひょうきん者」と伝えたつもりでも、言われた本人は、いたって真面目に振る舞っていたのにバカにされたと感じることだってあるかも知れません。

普段だったら軽く受け流せることでも、気分が落ち込んでいるときだったり、長期に渡ってしつこく言い続けられたりすると、我慢できなくなってしまうということはありませんか？あるいは、自分も変なあだ名とかを言われて嫌だったはずなのに、つい友達にはノリで言ってしまったというようなことはありませんか？

12月4日から10日まで「人権週間」です。誰にでも、幸せに生きる権利『人権』があります。その『人権』を誰かが勝手に奪い取ることはできません。「自分がされて嫌なことは人にもしない。」ということは、小さい頃から教わり、頭では分かっているはずなのに、今も世界中で戦争があり、平和なはずの日本でも、殺人や虐待、いじめ等が起きています。同じ人間でも、見た目や価値観、考え方など、それぞれに違いがあります。その違いを排除するのではなく、尊重し合っていけるといいですね。

保護者・地域の皆様のおかげで、平成最後の年末を何とか迎えることができました。ありがとうございます。今後も家庭や地域と連携しながら、よりよい東小学校を築いていきたいと思えます。平成31年(2019年)が、さらに良い一年となりますように！



◇図工専科の中村 三里 主任教諭は16日より産休に入ります。代わりに、3学期より2名の講師が図工を担当します。